

行政拠点の整備  
新しい役場庁舎の建設位置と配置イメージ

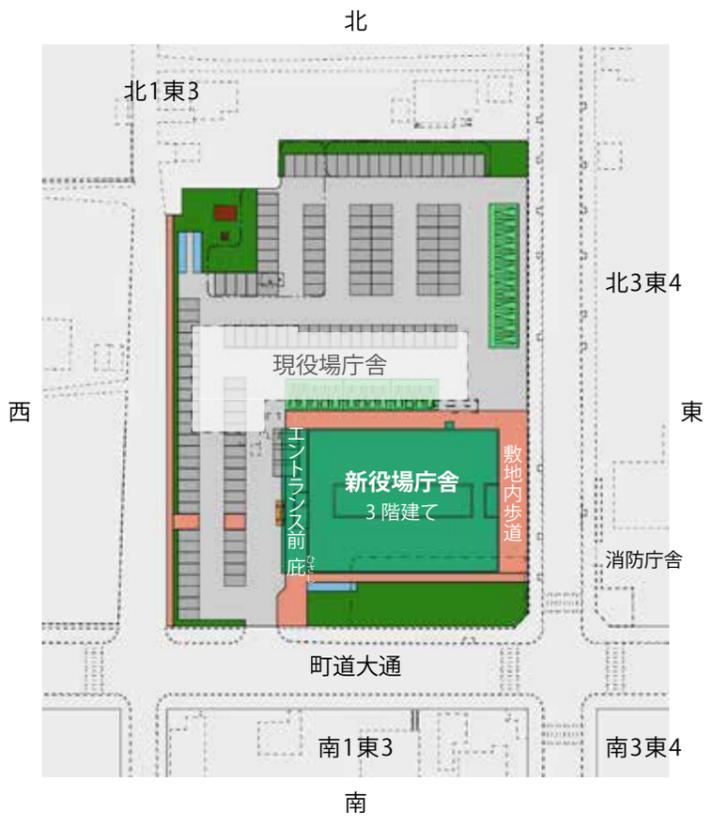
今年度、町ではまちづくりの重点施策として「行政拠点の整備」を掲げており、建設から50年以上が経過し、耐震性はもとより機能分散やバリアフリー未対応による住民サービスの低下、防災拠点施設としての機能不足などに対応するため新庁舎建設について事業を進めてきました。

昨年5月に基本構想を策定し、5月15日～16日にかけて行われた住民説明会や10月23日に開催された第1回町民ワークショップなどを経て、この度新庁舎の建設位置および配置イメージの案ができました。

【新庁舎の配置イメージ】

- ◆3階建てとし、周囲への圧迫感をできるだけ抑えた町民に親しまれる「顔」をもった庁舎とする
- ◆町道大通に近づけることで歩行者のアクセス性を向上させる
- ◆西側は歩行者のアプローチのみとし、敷地内に歩道を整備することでスクールゾーンへの安全性に配慮する
- ◆エントランス前には、庇（ひさし）を設けてじゃがりん号などの乗降にも配慮する

【新庁舎の建設位置】



また、土地利用について検討した第1回に続き、12月19日（火）に開催した第2回町民ワークショップでは、俱知安らしい庁舎づくりを進めるべく敷地内・庁舎内の空間イメージを個々に出し合い、グループごとに意見をまとめました。

今後は、ワークショップでまとめられた案などに基づいて「俱知安らしい役場庁舎」の建設へ向けて、さらに検討を進めていく予定です。



▲第2回町民ワークショップの様子 (12月19日)  
町総務課庁舎建設準備係  
☎56-8000

故・宮下雄一郎氏町葬  
12年間の宮下町政を振り返る

昭和58年から平成7年まで俱知安町長を務め、その貢献から平成20年に名誉町民となった宮下雄一郎氏が平成29年11月10日（金）に91歳で逝去され、12月3日（日）、町文化福祉センターにおいて町葬が営まれました。

会場には、羊蹄山と鳳凰を見立てた祭壇が造られ、そこに微笑んだ表情の宮下元町長の遺影が飾られました。開式を前に、宮下氏が町長だった当時、町の開基100年を記念して作られた曲「NATURAL WUNDERLAND (ナチュラルワンダーランド くっちゃん)」を俱知安ブラスオーケストラの皆さんが演奏しました。

式が始まると、参列者や関係者ら全員が宮下元町長を想い、黙とうを捧げました。葬儀委員長である西江栄二町長が追悼の辞を読み上げた後は、鈴木保昭町議会議長らから弔辞を賜り、高野真司副町長が多くの方から預かった弔電を奉読しました。そして式の最後には、参列者が順に献花をし、宮下元町長との別れを惜しみました。

主な功績

3期12年にわたり町長として俱知安町の行政推進に貢献した宮下元町長のその功績の一部を紹介します。

流雪溝設備の普及

俱知安町の冬を快適かつ安全に暮らすため、流雪溝の設置普及を推進しました。

集合住宅の建設

平成5年度までに4棟83戸の住宅団地を完成しました。

「俱知安じゃが」の普及

農業振興のため、農産物販売流通の改善を図り、特産品「俱知安じゃが」の銘柄確保と安定供給の確立に尽力した。

山田地区の環境保全に尽力

スキー観光客の増加とホテル・ペンション・別荘など宿泊施設の増加に伴い生じた飲料水不足と汚水排水対策に努めた。

教育環境の整備

東小学校と西小学校を新設・開校し、俱知安小学校新校舎を竣工した。

総合体育館を竣工

平成6年に文化・スポーツともに対応可能な総合体育館を建設した。

「えぞふじ国体」の開催

昭和45年国体冬季スキー競技会に続き、昭和61年に第41回国民体育大会スキー競技会「えぞふじ俱知安国体」を開催し、成功を収めた。

平昌五輪候補選手を  
みんなで応援しよう

世界を舞台に活躍している俱知安町出身の大越龍之介選手（男子アルペン）・古谷沙理選手（女子バイアスロン）・住吉輝紗良選手（女子モーグル）の3選手は、2月9日から開催される平昌冬季オリンピックに出場の期待がかかっています。

町内では、彼らを町民が一丸となって応援をするため「くっちゃん雪ん子サポーターズ(呼称:KYS)」が発足し、12月18日（月）には、くっちゃん雪ん子サポーターズ石本代表が北陽小学校を訪れ、同会が応援グッズとして作成したリストバンドをクロスカントリー少年団所属の子どもたちに手渡しました。このリストバンドは、主に町内の子どもたちに配布されます。石本代表は、子どもたちに対し「オリンピックを身近に感じるとともに彼らのような選手を目指して練習に励んでほしい」と話しています。



▲五輪をイメージした5色のリストバンドには「くっちゃん雪ん子2018.平昌」の文字

大正14年11月	新潟県出雲崎町に生まれる	
昭和18年3月	北海道庁立俱知安中学校(現・北海道立俱知安高等学校)卒業	
昭和21年4月	昭和51年12月までの30年余り俱知安町役場職員として勤務	
昭和51年12月	昭和57年まで俱知安町助役を務める	
昭和58年1月	町長選で初当選 平成7年まで俱知安町長を務める	
平成4年1月	全国町村会表彰(自治功労)	
平成8年1月	俱知安町特別功労賞(自治功労)	
平成13年11月	北海道町村会表彰(自治功労)	
平成13年11月	勲五等双光旭日章(自治功労)	
平成20年6月	歴代4人目の俱知安町名誉町民となる	
平成29年11月	91歳で逝去	

## 日本人も外国人も 冬の運転に気をつけて

12月6日(水)と12月7日(木)の二日間にわたり、冬季にこの地域で働く外国人労働者のための冬道ドライビング教室が倶知安警察署などの協力で開催されました。

この講習には約120名が参加し、冬道の運転に関する講義を受けた後、特設コースを利用した実技による講習が行われました。  
実技講習の中で、冬道の運転は初めてという参加者は、減速時にスリップを経験するなど慣れない路面状況での運転の難しさを、身をもって体感していました。

冬になり、町では外国人が運転する車が増えています。また全国的に外国人のレンタカーによる事故も増えており、北海道でも昨年からは外国の方が運転していることがわかるよう、マグネット式のステッカーを作成し、配布しています。

冬道に不慣れた外国人の運転に気付いたときは、日頃から安全運転はもちろん、少し配慮をすることで交通事故を減らしましょう。



▲冬道ドライビング教室の様子

## まちなか広場 子育て世代の評価高く

昨年7月29日(土)～9月24日(日)までの57日間、町内北1西2(駅前通り川端文化堂横空き地)で実施した「あつまれ!まちなか広場プロジェクト(北一街区賑わい拠点整備実証事業)」の調査報告会が12月5日(火)に中小企業センターにて開催されました。

報告会では、来場者へのヒヤリング結果として、子どもが遊ぶ場所が充実しており、子連れでゆっくりできることが良かったという声が多かった一方で、改善点として雨天や暑さへの対策を求める声が多くあったこと、また来場者の多くは町内からであったものの、口コミやSNSにより町外からも約3割の来場者があったことなどが報告されました。

この事業の継続は現時点では未定ですが、実行委員会の副委員長である宮武利裕さんは最後の挨拶の中で「今後も継続できるよう、今年の検証結果を踏まえて検討していきたい」と話していました。



▲多くの人で賑わったまちなか広場

## 災害時に助け合うために 避難行動要支援者名簿の作成にご協力を

町では、地域防災計画に基づき地域の避難支援体制の向上を目的に、災害時の避難の際に支援を必要とする方(避難行動要支援者※1)の名簿を作成し、情報提供に同意された方の情報を、地域で避難支援などを行う関係者(避難支援等関係者※2)へ提供することで、災害時に円滑な避難支援が行われるよう取り組みを進めており、避難行動要支援者に該当すると思われる方に対して、案内通知を送付しています。

制度の趣旨をご理解の上、町から避難支援等関係者への避難行動要支援者名簿の情報の提供に同意していただける場合は、同封の確認書に必要事項を記載して、返信用封筒で投函してください。

避難支援等関係者へ提供する情報は、『氏名・生年月日・性別・住所または居所・電話番号その他連絡先・避難支援を必要とする事由』です。

災害対策基本法において、避難支援等関係者は守秘義務を負うこととなり、個人情報取扱法については、目的外利用を禁止し、適正に管理します。

- ※1 避難行動要支援者の対象
- ① 75歳以上の高齢者のみの世帯の方
  - ② 65歳以上の高齢者で要介護1・2、要支援1・2の方
  - ③ 要介護3以上の方
  - ④ 身体障がい者(1・2級)および知的障がい者(A判定)、精神障がい者(1級)の方

- ※2 避難支援等関係者
- ① 消防機関
  - ② 警察
  - ③ 民生委員
  - ④ 社会福祉協議会
  - ⑤ 自主防災組織



### 【注意】

災害時は誰もが被災者となります。この取り組みは、災害時の支援を保障するものではなく、あくまでも地域の支え合い(共助)によって少しでも災害時の被害を減らすこととするものです。また、避難支援等関係者への情報提供に同意しない場合に、支援が受けられないというわけではなく、情報を提供することにより平時から避難行動の計画を立てて、災害時の支援に備えることができるというものです。

## 建物の倒壊・屋根からの落雪など 雪の事故に注意!

近年、北海道内で積雪による建物の倒壊が数多く発生しています。町内も同様ですので、倒壊事故が起きないように屋根の雪下ろしなどを行いましょ。

気温が上昇した日中には、落雪により道路の一部が塞がれることがあります。その年の気温や雪の降り方によっては、普段落ちない雪が一気に落ちることがありますので屋根に雪が残っている場合は十分注意しましょう。

なお、屋根の雪下ろしをする際は、命綱をつけるなど落下事故に注意し、一人で作業を行わないようにしましょう。また、災害時の避難経路を確保するため非常口や避難階段、敷地内などの除雪を行いましょ。



- 町建設課豪雪対策室 ☎ 56 - 8011
- 町まちづくり新幹線課建設指導係 ☎ 56 - 8012
- 町住民環境課生活安全係 ☎ 56 - 8005

## 新幹線事業に関わる 宅地造成事業計画について

町では、町道西4丁目通の西側で計画されている北海道新幹線の事業に関わる移転補償を想定し、倶知安高校前の旧胆振線跡地において移転対象者向け宅地造成事業を計画しています。

今後、新幹線事業に関する移転対象者への土地調査、物件調査などについての事前説明会にあわせて移転先などのアンケート調査を実施する予定です。

なお、移転対象者については別途、事業者である鉄道・運輸機構から通知される予定です。



- 町まちづくり新幹線課 ☎ 56 - 8012

## 追加募集! 申込はお早めに モバイルルーター購入助成事業

町では、光回線が整備されている地域とそうでない地域の生活水準格差の是正を図るため、高速モバイルルーターを購入する個人に対し、その購入費の一部を助成しています。

### ◆申込条件

- 次の①～③全てに該当する個人となります。
- ① 町内の光回線が整備されていない地域に住所を有し、かつ、現に居住する個人
  - ② モバイルルーターを使用することで光回線整備地域との格差是正の効果が認められること
  - ③ 町税に滞納がないこと

### ◆申込方法

- 町総合政策課窓口へ備付けの「同助成金申込受付簿」に所要事項を記載してください。  
※その際、必要事項の確認を行います
- 申請は先着となり、申請予定額の総額が予算の範囲に達した日か、3月9日(金)までのいずれか早い日まで申請を受付けます。

- 町総合政策課企画統計係 ☎ 56 - 8001



## キツネやタヌキなど 野生動物にエサをあげないで!

最近、町内でキツネやタヌキなどの野生動物を見かけることが多くなっています。「かわいい」もしくは「かわいそう」と思っても野生動物にはエサを与えないでください。



エサを与えられた動物たちは、楽にエサをもらうことに慣れてしまい、人間の食べ物の味を覚え、その場所に何度も来るようになります。そして、人間に食べ物をねだるようになったり、時には襲いかかってくることもあるので大変危険です。

野生動物を見かけても、近づいたりエサを与えたりせずに自然のままの状態ですと見守りましょう。

- 町住民環境課環境対策室 ☎ 56 - 8008